

授業科目 社会福祉行財政論

【担当教員名】 塩見義彦	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

社会福祉に関する施策にはさまざまなものがある。いわば福祉六法と呼ばれる法律にもとづくものをはじめとして、ご存知の介護保険法や児童虐待防止法など今日の福祉課題に対応する上で重要な施策に関する法律が次々と制定されている。この授業では、こうした施策(サービス)を実施していくための行財政制度の仕組みとともに、広範な社会福祉の現状と動向について理解することを目標に進めていく事にしたい。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

- ・社会福祉の背景としてどういったことがあるかを理解する。
- ・社会福祉を支える財政面と行政面について理解する。
- ・今日、社会福祉においてどのようなことが課題となっているかを知る。
- ・そうした課題について、どのような事が論じられているかを学ぶ
- ・法体系に基づき、とかく縦割りの知識となり勝ちであるが、これを横の関係でも整理してみる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	社会福祉の背景・人口と世帯		講義中心 以下同様
2	社会福祉の背景・日本経済と国民生活の動向		
3	同上		
4	社会福祉の行政組織と財政		
5	国及び地方公共団体・審議会その他の関係機関		
6	福祉事務所・児童相談所と地域福祉計画・地域福祉権利擁護事業		
7	社会福祉の財政		
8	次世代育成支援対策の展開		
9	子育て支援		
10	同上		
11	要保護児童対策		
12	同上		
13	母子家庭等支援施策		
14	児童家庭施策		
15	社会福祉改革の背景と動向 授業の進捗状況等都合により変更する事がある。		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	国民の福祉の動向 2006年版	財団法人	厚生統計協会	・2100円
その他の資料	適宜配布する。			

【評価方法】

授業態度、出席率、レポート、試験等総合的に評価する。

【履修上の留意点】